

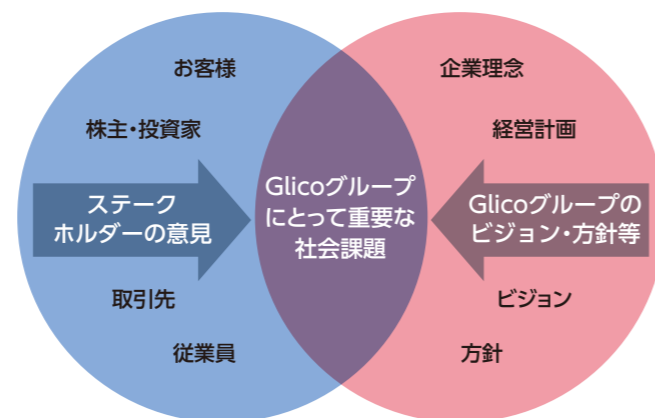
Glicoグループの重要課題 (マテリアリティ)

国際的なガイドラインに即した重要課題 (マテリアリティ) の特定

Glicoグループでは、CSRマネジメントの充実を図るために、経営の重要課題 (マテリアリティ) を明らかにするため、調査・分析を行いました。

分析の際は企業の非財務情報開示の国際基準であるGRIスタンダードを参照しています。

これは今後のCSR活動の計画・目標作りの土台になるとともに、CSRレポートの客観性等を高めるための取り組みです。



参照アンケート	
①お客様	お客様センターに寄せられたご意見
②株主・投資家(機関・個人)	定時株主総会質疑応答 江崎グリコ 株主・投資家アンケート 決算説明会アンケート 個人投資家説明会アンケート 会社説明会アンケート
③取引先	取引先アンケート
④従業員	従業員アンケート

<重要課題を特定するステップ>

STEP 1 私たちに関わりの深いステークホルダーの方々のGlicoグループに対する意見(各種アンケート)を解析することにより、重要な社会課題の抽出を試みました。

STEP 2 Glicoグループ内の役職者等に意識調査を実施し、STEP1で抽出された社会課題の重要性について順位づけを行いました。

STEP 3 ステークホルダーにとっての重要性(STEP1)とGlicoグループにとっての重要性(STEP2)の二つの視点を組み合わせて重要なテーマを絞り込み、CSR委員会による合議を経て、重要課題を特定しました。

STEP 1 ステークホルダー視点によるGlicoグループの社会課題の抽出

- ①ステークホルダー別のアンケート調査結果における全ての回答を分析し、Glicoグループにとっての重要な社会課題を抽出。そこから重要課題の候補となる項目をリストアップし、13の категорияに分類。
- ②分類した13の категорияに、ステークホルダーの回答数に準じて重要性得点を付与。
- ③各 категорияの重要性得点合計に応じて、 categoriaの 順列を決定。
- ④決定した各 categoriaの 順列に従って、重要課題マップの縦軸にプロット。

重要性の高い13の categoria (縦軸)	
1 a. 企業統治	8 h. 供給
2 b. マーケティング・商品価値の向上	9 i. 健康増進・育児支援
3 c. 情報開示	10 j. 環境
4 d. 品質安全	11 k. 健全な事業活動・企業価値の向上
5 e. 調達	12 l. 株主還元
6 f. 働きやすい職場づくり	13 m. 海外事業
7 g. 人財育成(スキル)	

STEP 2 Glicoグループ視点による重要性の高い社会課題の選定

- ①STEP1で分類された13の categoriaについて、Glicoグループの役職者等にアンケートを実施。
- ②13の categoriaについて、重要度が高いと思われる経営課題の順に重要性得点を付与。
- ③各 categoriaの重要性得点合計に応じて、 categoriaの 順列を決定。
- ④決定した各 categoriaの 順列に従って、重要課題マップの横軸にプロット。

重要性の高い13の categoria (横軸)	
1 b. マーケティング・商品価値の向上	7 g. 人財育成(スキル)
2 d. 品質安全	8 i. 健康増進・育児支援
3 k. 健全な事業活動・企業価値の向上	9 l. 株主還元
4 f. 働きやすい職場づくり	10 j. 環境
5 a. 企業統治	11 h. 供給
6 m. 海外事業	12 c. 情報開示
	13 e. 調達

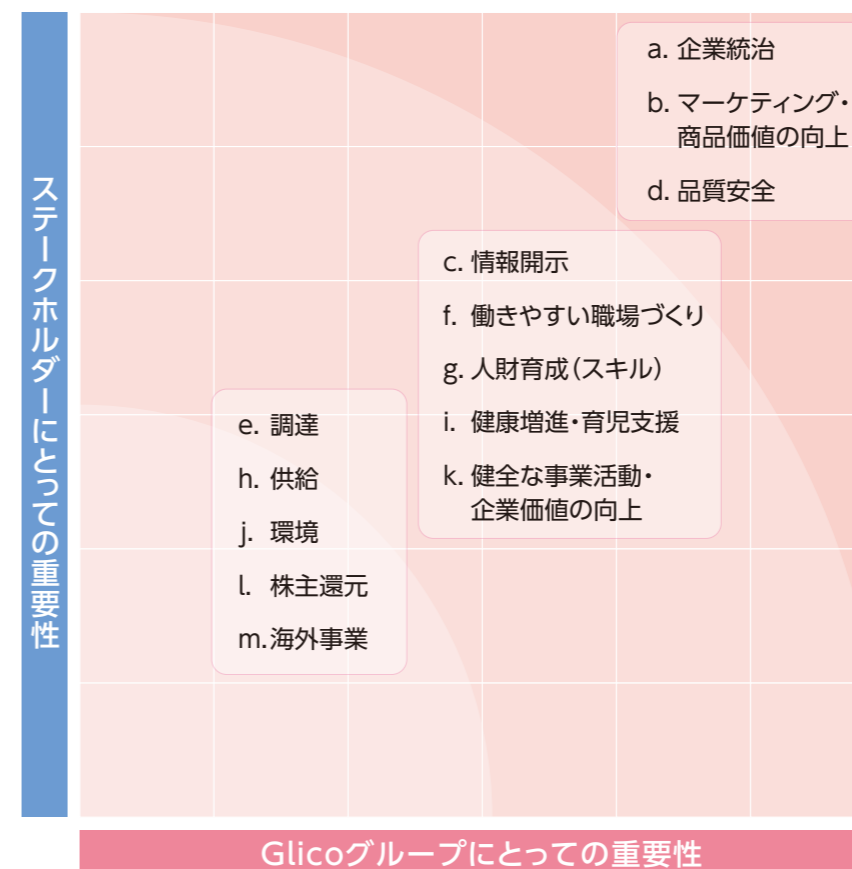
STEP 3 重要課題の特定

- ①STEP1、2で縦軸・横軸にプロットされた13の categoriaを、重要課題マップ上にマッピング。
- ②ステークホルダーにとって重要度が高く、かつGlicoグループにとっても重要度の高い項目を特定。
- ③この結果をCSR委員会に諮り、合議を経たうえで、Glicoグループの重要課題として特定。



CSR委員会による討議

Glicoグループの重要課題マップ



特に重要度の高い3つの categoriaについては、当報告書に「CSR活動トピックス」を掲載 (P.15~16参照)

TOPICS 1

企業統治

TOPICS 2

マーケティング・商品価値の向上

TOPICS 3

品質安全